

健康ぷらざ

No.391

企画:日本医師会

眼圧と緑内障

私たちの目の中には液体(房水アキウ)で満たされていて、丸い形や大きさを保つために、ボールのように内から外へ圧力がかかっています。これを眼圧とよびます。眼圧は高すぎても低すぎても、目に問題がなくなります。眼圧の異常でおこる病気のひとつに緑内障があります。

房水は、目の中で作られては目の外に流れ出て、眼圧を調整しています。何かの原因で、房水が外に流れ出にくくなると眼圧が上がり、目の中にある神経が傷つき、だんだん見える範囲が狭くなります。これが緑内障です。

しかし、眼圧の上昇＝緑内障ではありません。視神経が傷つきやすい人は、眼圧がそれほど高くなくても緑内障になることがあります。逆に、視神経が眼圧に強い人は、眼圧が高くても緑内障になりません。ですから眼圧検査だけでなく、目の奥にある血管や神経を調べる眼底検査や、見える範囲を調べる視野検査を受けるのが良い方法です。

緑内障は知らないうちに病気が進んでいることが多く、そのまましていると失明してしまうことがあります。早く気付いて、早く治療を始めることが何よりも大切です。目の定期検査を受けましょう。

